

7/13 福井

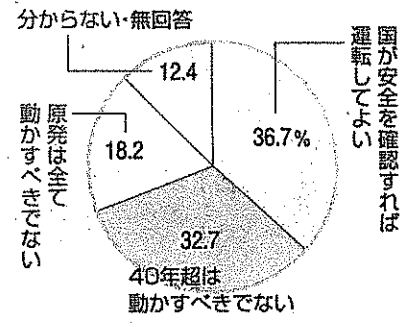
40年超運転否定5割超

高浜1、2号 容認は36%

本社世論調査

福井新聞社が参院選に合わせ、県内各町を対象に行った電話世論調査によると、運転開始から40年を経過した関西電力高浜原発1、2号機の運転延長の是非に關し、「40年超は動かすべきでない」は36.7%、「容認は36.7%にとどまった。法律で定めた40年制限の原則通り」40年超は動かすべきでない。【2面に關連記事】

「安全を確認すれば運転してよい」は32.7%、「40年超は動かすべきでない」は18.2%、「容認は36.7%」は12.4%、「分からない・無回答」は18.2%を占めた。だが世論調査の結果をみると、古い原発の安全に對する県民不安は大きいとみられる。2基の再稼働に向けた同意判断に關し、西川知事は「安全確保を前提とした県民理解が必要不可欠」としているが、県や国には県民への説明責任が求められそうだ。調査は今月3～5日に行った。「分からない・無回答」としたのは12.4%だった。男女別で見ると、男性は四つの選択肢のうち、40年超運転を容認する割合が最も大きく42.1%。一方、女性は40年超は動かすべきではないと



男性	42.1%	32.5%	16.9%	8.6%
女性	31.7%	33.0%	19.5%	15.8%

する40年運転制限が最も高く33%。全て動かすべきでないという全廃炉の割合も男性に比べ2.6%高くなり19.5%だった。年齢層別では、若年層(30代以下)と中年層(40～50代)は40年超運転の容認が高くなり39%超あった。高年層(60代以上)は全廃炉が21.6%あり、40年運転制限と合わせた運転延長の否定は54.3%に上った。地域別では、嶺南地域が40年超運転の容認が最も大きく42.8%。40年運転制限は福

井市・永平寺町地域が1番高く35.8%。全廃炉が最も高かったのは原発立地から近い南越地域の25.9%だった。(青木伸方)

【調査の方法】3～5日の3日間、県内の有権者を対象に、コンピュータで無作為に電話番号を発生させて電話をかけるRDD(ランダム・ディジット・ダイヤリング)法で実施した。無作為に発生させた番号のうち、実際に有権者がいる世帯にかかったのは1054件で、このうち851人から回答を得た。

を認可し「例外規定」とされ、たが世論調査の結果をみると、古い原発の安全に對する県民不安は大きいとみられる。2基の再稼働に向けた同意判断に關し、西川知事は「安全確保を前提とした県民理解が必要不可欠」としているが、県や国には県民への説明責任が求められそうだ。調査は今月3～5日に行った。「分からない・無回答」としたのは12.4%だった。男女別で見ると、男性は四つの選択肢のうち、40年超運転を容認する割合が最も大きく42.1%。一方、女性は40年超は動かすべきではないと